

3. 論文の採否：論文の採否は Editorial board のメンバーによる査読審査の結果に従い決定される。ただし、シンポジウムなどの記録や治験論文については編集部で採否を決定する。
4. 論文の訂正：査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 採択論文：論文が採択された場合、原稿を3.5インチフロッピーディスク・MO ディスク・CD-R・CD-RW のいずれかに保存し、編集部へ送付する。ディスクには論文受付番号・筆頭著者名・機種名・ソフトウェアとそのバージョンを明記する。Windows の場合は MS-Word・一太郎、また Macintosh の場合は EG-Word・MS-Word とし、特に Macintosh においては MS-DOS テキストファイルに保存して提出すること。
6. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
7. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
 - (1) 掲載料は1ページにつき和文は5,775円(税込)、英文は6,825円(税込)、超過頁は1ページにつき7,350円(税込)、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
 - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5ページ以内は31,500円(税込)、6ページ以上は1ページ毎に10,500円(税込)を加算した額を申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
8. 著作権：当誌に掲載する著作物の複製、複製、転載、翻訳、データベースへのとりこみ及び送信等の権利は、泌尿器科紀要刊行会に帰属するものとする。
9. 別刷：30部までは無料とし、それを超える部数については実費負担とする。著者校正時に部数を指定する。

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

編集後記

東北Y大学の学長に前文部科学事務次官が選出された。教職員の投票結果を覆して執行部の選考会議で決定されたようだ。

大学は今、競争的資金獲得を迫られゆとりをなくしている。各省庁からは、様々なプロジェクトが提案され、これに乗り遅れるとお金がこないので必死である。プロジェクトに応募するには提案書類が必要である。プロジェクトに採用されると成果報告書類が必要である。この数年、書類作成に費やす時間は著しく増えた。書類、書類、書類、成果、成果、成果である。この状況では省庁からの事前情報の有無は死活問題でもある。Y大学の選択には、いろいろ複合的な理由があると聞くが、今後の各大学法人の動向に大きな影響を与える可能性がある。国立大学が法人化する時、天下りの事態を懸念する声があった。私は有能な人材が適材適所で活躍することには大賛成である。是非、良い方向で決着してほしい。

昨日終了した今回の参議院選挙の結果では、民意の方向性が明確に示された。しかし、この国民の見識も国政には反映されないようである。政治家と官僚の描く未来像とはいったいどんなものなのだろうか。

(小川 修)

泌尿器科紀要 第53巻 第8号 2007年8月25日 印刷 2007年8月31日 発行
 発行 小川 修 顧問 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要刊行会
 〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎301号 電話 (075) 752-0100
 FAX (075) 752-0190
<http://www.kiyou.jp/>

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
